

平成21年度

学校経営方針

目黒区立第三中学校
校長 飯野 博史

平成21年度 目黒区立第三中学校 学校経営方針

校長 飯野 博史

□ 教育目標

人権尊重の精神を基調とし、常に向上心に満ちた生徒を育成する。

- ・健康で明るい人になろう
- ・思いやりのある人になろう
- ・進んで学ぶ人になろう
- ・自ら考え、行動できる人になろう

□ はじめに（基本的な考え方）

- 教育の根本的な判断基準は「生徒」にある。
- 学校は組織体として、意図的、計画的、組織的に教育活動をする。

□ 目指す学校

全教職員が人権尊重の精神を基盤にしなが、創造性と主体性を発揮し、一人一人の生徒の自己実現が図られる学校づくりを目指す。その中で、従来のよき伝統を生かしなが、時代や社会の変化を敏感にとらえ、これまでの習慣にとらわれることなく、改善すべきところは全教職員が一丸となって取り組み、保護者・地域の方々の信託に応えていく。

『信頼関係を基盤とした心の通い合う学校づくり』一心を育てる学校づくりー

◎学校生活目標 『時間 あいさつ 身だしなみ』

◎教職員の目標 『親切 丁寧 誠実』

落ち着いた雰囲気の中、安心して学校生活が始まり、生活のリズムがあり、学級に居場所があり、授業に活気があり、行事や部活動等に打ち込める学校づくり

「当たり前のことが当たり前ができる学校」

＝生徒が期待をもって学校に登校し、授業を受け、学力を身に付け、学校行事で盛り上がり、好きな部活動を行い、満足して自分の家に帰る。

「三中に誇りをもつ生徒を育てる。」「思いやり 優しさ 豊かな心の育成」

□ 本校の課題

◇保護者の願い

- ・心身共に健康、健やかに育ってほしい。
- ・落ち着いた学校生活を送ってほしい。
- ・学力をしっかりと身に付けてほしい。
- ・信頼できる学校にしてほしい。

◇社会的要請

- ・確かな学力の定着 学力低下への懸念
- ・心の教育の充実 思いやりの心、規範意識の育成、道徳授業の充実

- ・ 体力・健康づくり
- ・ 開かれた学校（特色ある学校づくり、学校公開、外部評価、道徳授業地区公開講座、学校評議員制度、地域人材活用等）
- ・ 情報公開と説明責任と結果責任（教育課程の確実な実施、精度が高い評価・評定、生徒指導等）
- ・ 教育公務員への期待と不信
信用失墜行為（個人情報流失、セクシャルハラスメント、交通事故、酒気帯び運転、体罰、横領等のサービス事故）
- ・ めぐる学校教育プラン〔魅力ある学校・活力ある学校・信頼される学校〕

◇現状から

- ・ あいさつのできる生徒
- ・ ボランティア等に意欲的な生徒
- ・ 基本的な生活習慣が身につけていない生徒、服装等だらしない生徒
- ・ 学習習慣が身につけていない生徒、家庭学習の不足
- ・ 人のものを隠す、嫌がらせをするなど心ない生徒がいる。
- ・ 不登校生徒や情緒障害生徒など配慮を必要とする生徒の増加
- ・ 社会的価値観の多様化（保護者の方の中にも、多様な価値観。要望、苦情）
- ・ 教職員間での報告、連絡、相談、協議が不徹底になることがある。

□ 重点項目

課題解決には、教職員一人だけの指導には限界がある。

◎組織的な対応

学年、学級担任と副担任との連携、分掌部会、教科部会、全校体制で。

◎生徒理解を根底にした生徒指導（生徒との関わりの中で生徒を生かす指導）

日々の教科指導、補習、学級経営、学年経営、学年・学校行事・生徒会活動、給食指導、清掃活動、部活動他 日々の生徒とのふれあいを大切にする。

◎保護者への理解と協力（指導経過報告と協力依頼）

家庭訪問、電話連絡

◎生徒・保護者との信頼関係を築く。

「信頼関係」のない所に教育は成り立たない。愛情、誠意、気配り、きめ細かな対応、指導。



平成21年度の教育活動の実施を通して、以下の重点の達成を図る

- (1) 生徒一人一人に学ぶ喜び・意欲をもたせ、確かな学力を身に付ける
- (2) 人権尊重の精神をもち、思いやりの心を育てる
- (3) 学校行事や諸活動を通して、生徒のよさを最大限発揮させる
- (4) 健康・安全・安心を大切にするとともに、心配り（配慮）がある学校
- (5) 生徒・保護者・地域との信頼関係を基盤とした指導体制の確立

1 基礎的・基本的な学力の定着を図り、確かな学力を身に付けさせる

【学習意欲の向上】

- ◇日頃からの指導法の工夫、授業改善、他の授業から謙虚に学ぶ
 (楽しく分かる授業に努め、基礎・基本の定着を図る。学習形態の工夫、コンピュータによる指導、学校図書館の活用等新たな指導に取り組む。少人数授業の実施。日常的な補習によるきめ細やかな指導)
- ◇学習の基礎である「ことば」の力をつけるよう、読書活動の推進をはじめ、すべての教科で「聴く・伝える・考える」といった言語活動を意識的に行う。＝新学習指導要領を先取りする
- ◇学び合い学習(助け合い学習)の実施＝夏季休業あけの学習コンテスト等で。
- ◇夏季休業日の自習教室実施(4日間)＝積極的に声かけをする。
- ◇総合的な学習の時間、体験学習との連携(調べ学習、課題解決学習、グループ学習)
- ◇校内研修会の充実(やらされる研修から自ら進んで取り組む研修へ)実践的な研修、新学習指導要領の理解、小グループによる日常的な授業研修
- ◇区の学力調査(平成21年4月14日実施)の結果の活用
 結果の分析と授業改善プランの作成、確実な実施と検証・改善
- ◇マイスターコースの充実・工夫を図り、各種検定に積極的に挑戦させる。

【学習習慣の確立】

- ◇授業規律の確立(チャイム着席は、教員の姿勢から始業と同時に授業スタート)
- ◇規範意識の確立＝学校生活目標を「時間、あいさつ、身だしなみ」とし徹底させる。
- ◇小学校との連携を深める。(英語活動、音楽、保健体育、図工で交流授業の実施)
- ◇「学力向上5つの呼びかけ」を生徒・保護者に示す。掲示する。振り返る機会をもつ。
 - ①朝食をしっかりとろう
 - ②睡眠時間を7時間はとろう
 - ③テレビやゲームは2時間以内にしよう
 - ④授業に積極的に参加しよう
 - ⑤家庭で毎日必ず勉強しよう
- ◇学習の遅れがちな生徒には、根気強く、個別に指導する。

【授業時数の確保等】

- ◇週案簿の活用、授業時数の記録。安易な授業カットはしない。
- ◇各教科等の年間指導計画・年間評価計画に基づき、系統性・発展性ある授業を展開する。
- ◇評価と指導の一体化を図り、より一層精度高い評価・評定を実現する。

2 人権尊重の精神をもち、思いやりのある言動ができる生徒を育成する

- ◇明るく元気に「あいさつ」を交わし合う学校を目指す。まずは教師から実践
- ◇日常のあらゆる場面において生徒同士、生徒と教職員とのふれあいを大切にし、相互尊重の精神を育てる。＝「心を育てる」「心を耕す」指導の工夫・充実を図る。
- ◇通常の学級とF組との交流を深め、障害に対する理解や思いやりの心を培う
- ◇道徳授業の充実＝とくに「主として他の人との関わりに関すること」を重点に授業を行う。35時間実施を目指す。学活等への振り替えをしない。

3 学校行事(運動会、ひばり祭、区連合行事、宿泊行事等)や諸活動(生徒会活動、部活動、ボランティア・奉仕活動等)を通して、生徒のよさや可能性を最大限発揮させる。

- ◇自主・自律の心情・態度を育てる。
- ◇連帯意識、愛校心を育てる。行事や委員会活動、部活動等で他学年との交流を図る。

4 健康・安全・安心を大切にするとともに、心配り（配慮）がある学校を目指す

- ◇事故、けが、事件等が発生したときの対応と連絡（授業、部活動、校外等で発生した場合、連絡を確実にする。初期対応の大切さ。日頃からの危機対応）
その後も、配慮ある心配りを大切にする。
※首から上のけがは、必ず医師の判断を求める。
- ◇不審者対応 正門電子錠等の学校安全施設や備品の活用、教職員全員で来校者への声かけの徹底、警察への協力依頼
- ◇避難訓練、安全指導の計画的な実施により、安全確保の態度や能力を養う。
- ◇セーフティ教室の実施。情報モラルについての指導＝ICT指導員の活用。

5 生徒・保護者・地域との信頼関係を基盤とした指導体制の確立を目指す。

【生徒理解】

- ◇「分かる授業」「楽しい授業」を展開する。授業時間、休み時間、給食・清掃活動、部活動等あらゆる場面でかかわりを積極的にもつ。
- ◇日常的な教育相談の実施、カウンセリングマインドを身に付ける。長期休業明けの9月と1月を「ふれあい月間」とし、9月に「悩みアンケート」、1月に「いじめアンケート」を実施。アンケートをもとに教育相談を行う。
- ◇スクールカウンセラーを活用し、生徒理解・生徒指導について研修を深める。
- ◇学級経営について研修を深める。

【保護者理解と連携・協力、地域との連携】

- ◇保護者に対して、日常の細やかな対応に努める。まず話を聞く。受容と共感＝「親切」「丁寧」「誠実」な対応
- ◇問題行動等への素速い対応、組織的な対応、誠実な対応。指導過程の報告と協力要請。
- ◇保護者・地域の方と話し合う場を大切にする。授業参観日の学年保護者会、PTA役員会、PTA各委員会、学校評議員会、地域との会合等
- ◇地域行事への参加（毎月28日の目黒不動縁日、祭礼、さんま祭り等）
- ◇学校だより、学年だより、ホームページ等で情報を発信する。特に、ホームページについては、定期的に更新する。
- ◇教育アンケート（外部評価）を保護者・地域、生徒に実施する。一部その結果を公表するとともに、校内でも分析して、次年度の教育課程編成に生かす。
- ◇生徒に地域行事・奉仕活動への参加を推奨する。

【教職員の意思疎通・連携】

- ◇生徒指導での対応を統一し、報告・連絡・相談を密にする。（学級、学年等で差がないようにする）企画会、生活指導部会の機能の活用
例：服装等の指導、定期考査の受け方、給食指導、学級活動、生徒指導等
- ◇副担任が積極的に学級経営に関わる。担任の仕事の増大←副担任の適切な補助。担任不在となったとき、いつでも代わられる態勢をつくる。
- ◇不登校生徒、情緒障害生徒等、配慮を要する生徒の指導は、校内委員会を中心に全

校体制で対応する。

- ◇評価・評定、通知表等についてチェック機能を確認させる。読み合わせ等の確実な励行。
- ◇特色ある学校づくり　マイスターコース、金曜朝の地域清掃ボランティア（生徒にとってはボランティア、職員にとっては職務の一つ）、朝読書、F組との交流
- ◇朝読書の充実（全教員で対応する。一緒に読書する。）
- ◇朝の校門指導…担任、副担任の役割分担
- ◇給食指導の充実（全員で指導・準備、栄養士の教室巡回、昼の放送による食育）
ランチルームの活用（全学年週1回は実施し、F組との交流の場とする）
- ◇学校環境の美化に努め、校内整備を日常的に行う。「環境は人をつくる」
日本を美しくする会との「トイレ掃除」実施＝8月26日（水）予定

□ **教育職員として、保護者、地域からの信託に応えるために、使命を自覚し、職務に取り組む。**

〈学校全体として〉

- ① OJTによる人材育成＝c.a.tサイクルの確立・実践。日次的な指導、助言。
主幹教諭、主任教諭、主任＝リーダーとして、経営参画意欲を高める。
- ② 教育課程の適正な実施（教育課程は保護者、生徒に対する公約、適正に実施する責任がある）→授業時数の確保、授業公開（授業参観・道徳授業地区公開講座）の実施、学習指導要領に基づいた年間指導計画・年間評価計画の作成と実施、週案の提出
- ③ 私費会計の厳正なる管理と執行
- ④ 言語環境の整備（差別する言葉・配慮のない言葉は禁止、保護者や外部の方への適切な対応、電話での対応）
- ⑤ あいさつ　まず教師から　率先垂範　※「学校の先生は非常識だ」と言わせない。

〈服務として〉

- ① 勤務時間の厳守
- ② 人事考課制度（自己申告書の提出）　キャリアプラン
- ③ 体罰厳禁
- ④ 通勤届けの厳守
- ⑤ 信用失墜行為の禁止（個人情報流出防止、セクシュアルハラスメントの禁止等）
- ⑥ 争議行為の禁止
- ⑦ 秘密を守る義務
- ⑧ 出勤簿の押印、週案簿・保健日誌の提出

□ **こんな職場になってほしい**

- ① 明るく、活気がある。教職員の笑い声が溢れている。教職員が仲良く、互いにそれぞれの役割、力を出して取り組んでいる。互いにフォローし合う。率直に意見の出し合える職場
- ② 生徒のよい面を見だし、日頃からの教職員の会話の中にも出てくる職場。
「〇〇君が頑張っているよ。」「〇〇さんが、こんな前向きな発言をしていましたよ。」
- ③ すぐに生徒や保護者のせいにはしない。まず、自分の指導に問題がなかったか考える。
- ④ 組織で対応する。報告・連絡・相談・協議の徹底。

学校経営方針に基づく目黒三中に求められる教師像

■学習指導

- ①落ち着いた授業を成立させることができる教師
- ②生徒の意欲・関心を引き出す授業を工夫することができる教師
- ③一人一人をきめ細かく見取り、個に応じた指導ができる教師
- ④年間指導計画、週案、評価計画をもとに計画的に授業を進めることのできる教師
- ⑤自己満足ではなく、常に生徒や保護者に納得のできる授業を実施する教師
- ⑥授業アンケートをとるなど、生徒の声にも耳を傾け、積極的に授業を改善する教師
- ⑦小テスト・学習コンテスト、各種検定など積極的に生徒に紹介、実施する教師

■生徒指導・進路指導

- ①授業規律を確立することができる教師
- ②愛情をもって生徒に接し、日常的にきめ細かな生徒指導ができる教師
- ③LD、ADHD、高機能自閉症など発達障害のある生徒に基本的な対応がとれる教師
- ④特別支援学級（F組）の生徒と積極的に関わり・交流をもとうとする教師
- ⑤いじめや不登校生徒に対し、組織として連携して適切な対応がとれる教師
- ⑥日常的に情報を交流・共有し、組織の一人として協力して指導にあたる教師
- ⑦副担任として担任を助け、学年・学級の生徒指導、進路指導に積極的に関わる教師

■学校運営・分掌運営

- ①分掌の仕事を支障なく運営できる教師
- ②学校経営方針を理解し、自分の役割や今何をすべきかを常に考え、行動できる教師
- ③昨年度の学校評価の改善点を理解し、改善に努める教師
- ④生徒会委員会指導を適切にできる教師
- ⑤自己申告書、キャリアプランを適切に記入できる教師
- ⑥担任として学年・学級の運営事務に積極的に努める教師
- ⑦副担任として担任を助け、学年・学級の運営事務に積極的に努める教師

■特別活動・その他

- ①生徒と協同して行事を高めようとする教師
- ②部活動を通して生徒の健全育成が図れる教師
- ③生徒とのつながりを積極的に深めようとする教師
- ④保護者との関わりを積極的にもち、信頼関係を築こうと努める教師

■服務等

- ①遅刻がない教師、時間を守る教師、あいさつのできる教師、
- ②場に応じた言葉遣い、来客との対応、電話での対応等が適切にできる教師
- ③儀式や保護者との対面時に服装を整えることのできる教師
- ④出勤簿押印、提出書類期日厳守等、生徒に要求するようなことが確実にできる教師
- ⑤教育公務員として、法規や条例を理解し、服務義務を遵守できる教師
- ⑥本校の研究や課題に積極的に取り組む教師
- ⑦学校の必要な連絡書類、校長からの文書などには誠実に目を通す教師

